

日本マイコトキシシン学会第 93 回学術講演会（2025 年 9 月 8 日：あわぎんホール（徳島県徳島市））では、学生会員の優れた口頭発表に対して、ベストプレゼンテーション賞を授与しました。(1) スライドの適切さ、(2) 発表の分かり易さ、(3) 質疑応答の適切さ、の 3 項目について 5 段階で評価した結果、以下の 2 名の方が授賞されました。

村上紀香（東京理科大学大学院 先進工学研究科 生命システム工学専攻）

「*Aspergillus nidulans* におけるステリグマトシスチンとオースチノール産生の競合」

大賀一輝（早稲田大学大学院 先進理工学研究科 応用化学専攻）

「ゲノム編集法によって作製したクエン酸高生産糸状菌 *Aspergillus lacticoffeatus* WU-2020 由来マイコトキシシン生合成遺伝子クラスター欠失株 Shin1 におけるマイコトキシシン非産生の確認」



授賞式の様子：（左）木村真会長、（中央）村上紀香氏、（右）大賀一輝氏